

単元名 読書生活を豊かに

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 今後の読書生活をデザインし、自己を向上させようとする。
 (3) 目的に応じて本や文章などを読み、自分の考えを深めることができる。さまざまな分野の文章を読むことを通して、語彙を増やし、語感を磨くことができる。

標準的な展開例

12210117_001

【準備等】国語指導CD、再生機

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 「高瀬舟」を読み、作品から人間の生き方や社会を考えよう。この「問い」を見つけ出す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 森鷗外の生涯 (p. 93) を読んで、作品や作者について知る。 本時の学習課題をつかむ。 ★作品中から「問い」を見つけよう 範読を聞き、あらすじや登場人物の設定をつかむ。 作品から浮かぶ「問い」を考える。 思い浮かんだ「問い」を発表させ、その中から自分の意見を述べるための「問い」を選び、文章を書く。 <p>2 これまでの読書生活を振り返り、読書傾向を分析するとともに、今後読みたい本について考えを広げ、読書計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の学習課題をつかむ。 ★これまでの読書生活を振り返り、今後の読書計画を立てよう 自分の読書生活を振り返り、分析してまとめる。 グループに分かれ、分析した読書傾向について発表し、感想を語り合う。 グループで話し合った結果を、学級全体に紹介する。 自分のこれからの読書生活を考え、情報を集めて具体的な読書計画を立てる。 読書計画を交流する。 読書案内 (p. 96) や読書コラム (p. 99) を読み、本単元をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 森鷗外が陸軍軍医であるとともに、明治の文豪であることなど、時間の許す範囲で補足してもよい。 教師の範読か、国語指導CD (約36分) を利用してもよい。 時間をとらないように、簡単に確認する程度にとどめる。 「問い」を立てるのは、人間の生き方や社会について考えを深めるためなので、本文を読めばすぐ答えが出てくるようなものは避けることを確認する。 ○予想される問いの例 <ul style="list-style-type: none"> ①知足 (足るを知る) に関する問い ②安楽死に関する問い ③作者鷗外に関する問い ④表現に関する問い 【評】人間の生き方や社会についての考えを深めるために「問い」を考える活動を通して、「読む」を評価する。 ここからの活動は、夏休みの課題などにしてもよい。 他の生徒の「問い」を参考にさせ、自分が意見を述べるのにふさわしい「問い」を見つけられるようにする。 書いたものは、後日文集にして読み合わせたり、話し合いの学習材にすることも考えられる。 教師の読書経験や読書傾向を語り、読書を生活に役立てることの意義について考えさせたい。 教科書 (p. 93, p. 94) を参考に分析の観点を示し、まとめさせる。 【評】読書生活を振り返り、分析してまとめる活動を通して、「関心・意欲・態度」を評価する。 読書傾向の共通点や相違点の中から、今後の読書計画に役立つものを見つけていく。 これから読み広げていきたい分野やテーマを考え、本を探す。 教科書 (p. 95) を参考にして、読書計画を立てる。 立てた計画を交流し、夏休みの読書生活の参考にさせたい。

【備 考】

中学校生活では、なかなか手にすることのない近代文学の名作を取り上げ、登場人物の考え方について話し合ったり、朗読したりしながら、文学作品を味わう体験をさせ、今後の読書生活のあり方について考えさせたい。

近代の名作や科学読み物、哲学の本など、さまざまなジャンルの本を読み、読書の幅を広げ、人間の生き方について考える。また、読書記録などを基に、自分の読書傾向を分析し、今まで読んだことのないジャンルやテーマに挑戦したり、多読に挑戦したりするなど、読書生活を自らデザインする力を養いたい。